

## 処方の実態調査、フォーミュラリー導入へ向けて

### 1. 研究の対象

オメプラゾール錠 10「SW」、オメプラゾール錠 20「SW」、ネキシウムカプセル 20mg、タケキャブ錠 20mg、ランソプラゾール OD 錠 15mg「サワイ」、ラベプラゾール ナトリウム錠 10mg「日医工」を内服している患者

### 2. 研究目的・方法

#### [目的]

フォーミュラリーとは、「疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報」と訳される。フォーミュラリー導入の背景には、少子高齢化問題があり、増大し続ける医療費を削減する対策として考えられている。特に、消化性潰瘍用剤(内服薬)の種類と処方数量は他剤と比べて多く、プロトンポンプ阻害薬(以下、PPI と示す)、カリウム拮抗型アシッドブロッカー(以下、P-CAB と示す)の処方数量は比較的上位を占めていることから、先発品と後発品が混在している PPI、P-CAB の適正使用と経済性が管理されたフォーミュラリーが他の病院でも数多く導入されている。

本研究では、京都中部総合医療センター(自院)で PPI、P-CAB フォーミュラリー導入へ向けた前段階として、オメプラゾール、エソメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾール、ボノプラザンの処方の実態調査を行った。

#### [方法]

##### 1. 自院と自院以外のDPC病院の比較

2021/3月～4月に処方されたPPI、P-CABの総処方量と自院以外のDPC病院の総処方量を百分率で比較した。

##### 2. 処方意図の実態調査

PPI、P-CABが2021/5/27～6/27に処方された全患者を対象に、入院・外来患者で分け、各薬剤の処方割合を比較した。

また、各薬剤の総人数を無作為に抽出率1/10で抽出し、上部消化管検査あり群、上部消化管検査なし群に分け、上部消化管検査なし群について処方の実態調査を行った。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：上部消化管検査、PPI・P-CAB 以外の併用薬 等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 薬剤部

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 調剤係長 荒井 久暢

京都中部総合医療センター 薬剤部 病棟業務課長補佐 山中 知恵子

-----以上